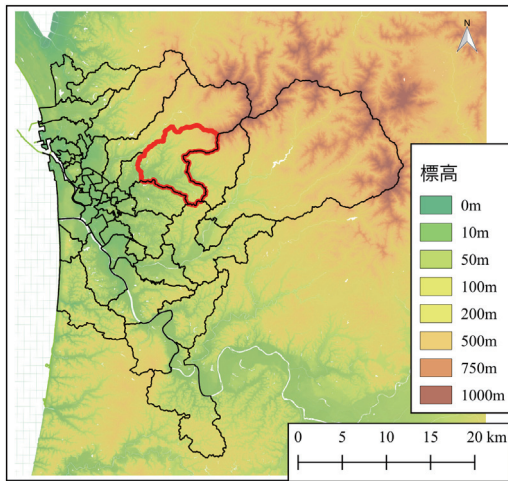


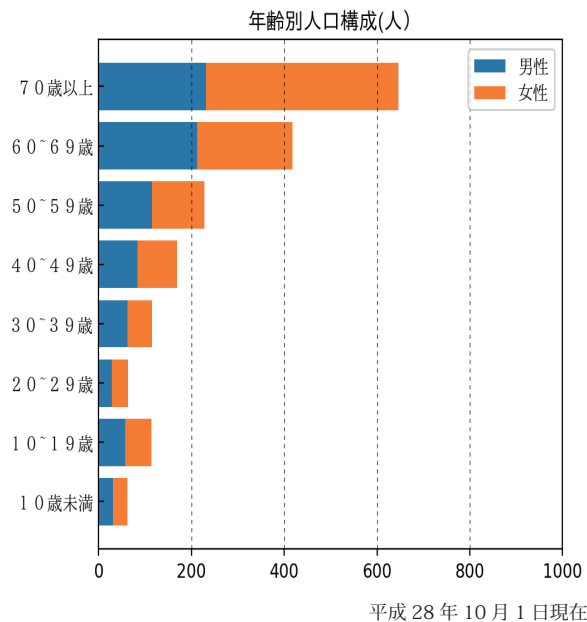
13：太平小学校（旧太平小学校）区

位置図



1 居住者の現況

人口	1,800 人
世帯数	629 世帯
65 歳以上人口	884 人
10 歳未満人口	62 人



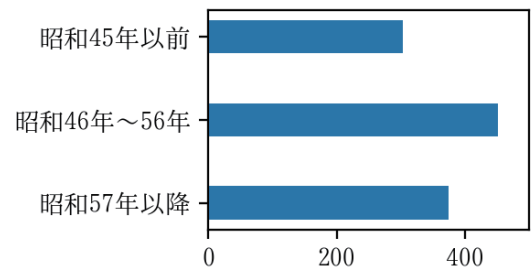
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	1131
非木造建物	32

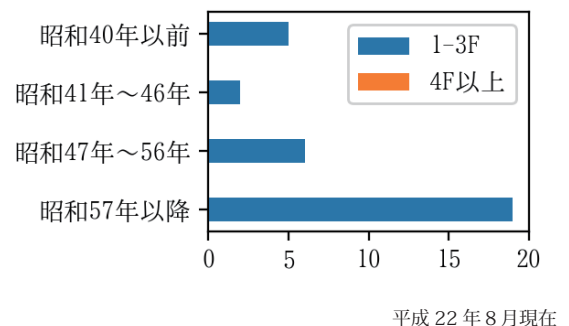
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	375
昭和46年～56年	452
昭和45年以前	304



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	19	0
昭和47年～56年	6	0
昭和41年～46年	2	0
昭和40年以前	5	0



自然的・社会的基本指標

秋田市東部に位置し、概ね山地と大平川水系が作る谷底平野からなっている。谷底平野に集落が点在している。急傾斜地等の土砂災害の危険性が高い箇所が多い。人口構成は、50 歳以上の年齢者層が全体の 6 割を占め、65 歳以上が全体の 49% を占める。建物は昭和 56 年以前の建築物の比率が高く、そのほとんどが木造建物である。昭和 57 年以降の建物は全体の 34% である。

3 自然災害に関する指標指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	太平川		
浸水面積 (%)	6.0		
最大浸水深 (m)	ランク 4		

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	17	堂ノ前、木曽石、神田、太平八田、目長崎、上館、谷地、屋敷前、雛沢 他
土石流危険渓流	43	稲荷沢、宮沢、井関沢、平形沢、木曽石沢、上八田沢、藤ノ沢、藤ノ崎沢、釜沢 他
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	19	太平八田字八田、木曽石、目長崎、舞鶴館、上館、神田 他

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	32	平形沢 1、木曽石沢、上八田沢 1、2、太平八田沢 1、3、4 他
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱	
(計測震度)	(5.71)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	1	
液状化危険度ランク	3	
建物全壊率 (%)	3.5	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	(該当なし)	
最大浸水深 (m)	(該当なし)	

4 災害時要配慮者に関する指標指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	2
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	0

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	0
こども園	0
幼稚園	1

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	1

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	16
防火水槽 (箇所)	13
消防車台数 (台)	6
消防ポンプ数 (台)	4
消防団員数 (人)	110

■ 避難所／避難場所

災害種別	施設数
洪水	0
土砂災害	2
地震	3
津波	0
福祉避難所	2
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称／箇所数
管轄消防署	城東消防署
管轄警察署	秋田東警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	0
最寄りの救急告示病院	秋田大学医学部附属病院
自主防災組織数	16

自然災害時の危険要素

太平川にそって氾濫による浸水が想定される範囲が広がる。

山間地であるため土砂災害の危険性が高い箇所が多く、土砂災害警戒区等も 32 箇所(急傾斜 11 箇所、土石流 21 箇所)の指定となっている。

地震動については、八田川に沿った一部の谷あいやや強く揺れる傾向が見られるが、ほぼ全域に渡って同等の揺れやすさになる。津波による浸水の危険性は極めて低い。

防災上の課題と対策

太平小学校区は、太平川中流域および八田川流域を含む中山間地である。学校区内には高齢者福祉施設があるものの、医療機関はないため、災害時に負傷者等の搬送方法について検討しておく必要がある。

学校区内では洪水ならびに土砂災害の危険性が高いこと、および避難施設までの距離がある集落が多いことなどから、各集落ごとに災害時の一時的な避難場所並びに避難経路を自主的に選定し、避難訓練等で実効性を確認しておく

ことが必要である。

65 歳以上の高齢者比率が全市でも高い地域であり、災害時に十分対応できない人も相当数含まれる可能性がある。支援団体や NPO 等と日常的な交流を計り災害時の協力関係を構築することも有効な対策となる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ / 土石流	地震	津波	大規模火災	
太平地区コミュニティセンター	○	x	x	○	x	x	93 人
太平小学校グラウンド	x	x	○	○	x	x	3,245 人
太平小学校（体育館）	○	x	△	○	x	x	172 人

※部分的に危険区域等にかかっている場合や隣接する場合で、一定の安全構造を有している施設については災害状況に応じて使用するものとし、「△」と記載しています。

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム 大平荘	太平八田字藤の崎 231 番地の 3	018-838-2338
大平荘 ショートステイセンター	太平八田字藤の崎 231 番地の 3	018-838-2335

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

